



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信 2

(2000.7.20発行)

2000-2001

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 福田 清 成
〒483-8205 愛知県江南市古知野町小金112(江南商工会館内)
TEL. 0587-52-5200 FAX. 0587-52-5252
E-mail governor00-01@rotary2760.org

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

—— 8月は会員増強・拡大月間です ——

クラブ会長・幹事の皆さんへ	1
国際ロータリー年次大会	3
会員増強・拡大月間によせて	5
20世紀からの贈り物	6
地区協本会議報告	7
ロータリーの魅力とRI	8
分科会報告第1、第2	9

目次

分科会報告第3、第4	10
分科会報告第5、第6	11
分科会報告第7、第8	12
分科会報告第9、文庫通信、各事務所	13
募集研究グループ交換派遣メンバー	14
R米山記念奨学会、寄付金に対する表彰制度の概要、米山功労者表彰制度 新旧対照表	15



クラブ会長・幹事の皆さんへ

会員増強・拡大月間によせて

ブエノスアイレスに思う

日本における会員増強について

R I 2760 地区ガバナー 福田 清成

第91回国際ロータリー年次大会

第2日目、6月5日午後のロータリー2000討論会は、「ロータリーにおける新しいコンセプト」とのテーマで開かれました。英語、日本語、フランス語と部屋が分かれて行われ、小谷R I理事が議長を務められた日本語の討論会に私も参加しました。小谷議長は冒頭、福岡の会員から受け取られた手紙について紹介されました。手紙の内容は、現在のロータリーは、単に社会奉仕団体であるということしか云っていないのではないかと、いう不満であり、自分もそれに近い思いを持っていると切り出されました。続くパネリスト3名の話提供とフロア

ーからの発言という形で進められた討論会では、時間が全く足りない感じがする程、発言の数も内容も多く、制限せざるを得ない状態でありました。最後に小谷議長がまとめとして、"単に奉仕というのではなく、奉仕をするにあたって、ロータリアンはリーダーシップを発揮する必要がある。そしてリーダーシップの実践を通して学び、学んで人間性

を高める。" このようにロータリーへの思いをお話くださいました。そんなロータリーだったら益々好きになれるのではないのでしょうか。

本年度も、会員増強と会員保持は国際ロータリーの最大関心事であります。同時に、財団寄付を多く集め、人道的

プログラムを強力に進めようということが機会ある毎に強調されています。でも、これだけでは、問題は好転しないように思います。むしろ逆効果でさえあるような気がします。

ロータリーの姿と、ロータリアンとクラブのありように

ついて、短い文でしかも具体的に表現されたものがあります。それはR I手続要覧に収められている「社会奉仕に関する1923年の声明」と「社会奉仕に関する1992年の声明」です。前者は、日本の先輩ロータリアンが協力して復活されただけあって、共感を覚える非常に良い説明であります。

この声明によると、**ロータリーは、一つの**



人生哲学であり、利己的な探求と、義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものであると示され、事業及び専門職務に携わる人の代表がロータリアンであり、奉仕の理論が職業および人生における成功と幸福の真の基礎であることを学び、またそれを職業と日常生活において実践してゆくこと、もってロータリアン以外の人々がこの理論と実践を受け入れるよう励ますことが説かれています。こういった奉仕のあり方は、ロータリアンにとって、特に社会の第一線にある現役にとって、賛同できるものであります。

ところが後者は、前者とともに使用さるべきものの注がついてはいますが、その大半において表現しているところは、献身に値することであり社会的責務でもある奉仕をしよう、とにかく奉仕をしよう、であります。こ

のような説明ですと、奉仕はロータリーでなくとも出来るとか、仕事に専念し利益を上げ納税することでもって社会には十分奉仕しているから敢えてロータリーに入らなくてもと云われてしまい、それ以上勧誘できません。先に逆効果と申し上げたのはこのことであります。しかしR Iから発信される膨大な情報は殆どこの後者に基づくものと云ってよいでしょう。これでは、ロータリーに惹かれる人は限られてくると思います。

**利益社会の限界点、マイナス面、
かなしさを知覚して、それでどうし**

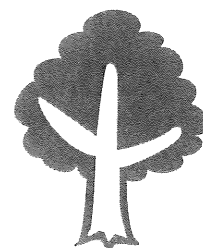
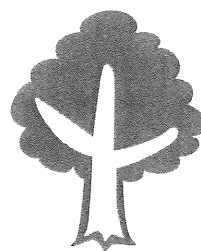
**ようというところにロータリーの源
があるように思います。** 「超我の奉仕」の

哲学や「最もく奉仕する者、最も報われる」という実践倫理は、1923年の声明を踏まえた上で、輝くモットーであります。このことをまず自分がよく腹落とした上で他人に入会を奨めるならば、喜んで受け入れられるのではないのでしょうか。たとえ、事情があつて入会できない場合でも、ロータリーはいいものだと感じてくださると思います。誰もが矛盾に悩みつつ生きている世の中であるからこそ、共通の理想を胸に
多くの友と学



日本語討論会「ロータリーにおける新しいコンセプト」

抱きつつ、
び、行動
で示して
ゆく——
そんな思
いを新た
にしながら、プエ
ノスアイ
レスを後
にしました。



R I 国際大会参加記

ロータリーは楽しんでするもの

RI第2760地区

東尾張分区ガバナー補佐 坂田 隆

毎年「ロータリーの友」で知る世界大会に一度参加してみたいと常々思っていたのですが、今迄その機会を得ることができませんでした。今年はガバナー補佐の委嘱を受け、妻に協力を要請しました。その折の条件は世界大会に二人で出かけることでした。今迄の僅かな経験ですが、家族で一緒にした海外旅行は思い出を共有でき、楽しさが倍増して有り難さを身にしみて感ずることができます。今度のアルゼンチン大会に於いて私共が最もうれしく感じたことはロータリーの素晴らしさ、有り難さでした。恐らく日本から一番遠い国、全く地球の反対側の南アメリカ、日本からおおよそ二万キロの南米のバリともいわれるブエノスアイレスに大会期間のほとんどを滞在することになりました。ただ折角そんな遠い国迄、又、私にとって11日間不在にするならばと、何かはっきりとした目的を決めようと考えました。ガバナー補佐の委嘱をいただいた時より微力ながら2005年の国際博覧会にロータリーが積極的に参加できるような企画を持ち、全国地区ガバナーにその協力を

要請したらと大きな目標を掲げ、福田ガバナーエレクトに申し出をし、又依頼されエレクトコースに同行をさせていただきました。その事について地区の皆さんに報告したいのは、野村ガバナー、福田ガバナーエレクト共々、本当に力強く日本全国34地区のバストガバナーをはじめ、指導的メンバーに要請していただきました。それぞれの地区では来年より何らかの協力がいただけるものと確信しております。

大会に於けるカルロ・ラビッツァRI会長、又、フランク・デブリンRI会長エレクトの長時間に亘る力強いメッセージ等は次の「ロータリーの友」或いは地区ガバナーよりのそれぞれ正確な報告に任せることにして、私がこの大会に参加して経験した二つのロータリーの素晴らしさをお話したいと思います。

一つはブエノスアイレス郊外の牧場での千葉の外科医のメンバーとの出会いです。彼はロータリーが大好きで、クラブではバスト会長であり、もう何年も以前より毎年世界大会に参加し、本年もたった一人で参加していました。「一年前よりアルゼンチン大会を目指してスペイン語を勉強してきた」と、アルゼンチンの人と楽しげに会話をする姿に感動しました。彼が東京で勉強したスペイン語の先生が、今は世界中が英語に支配されている様だが、英語は『脅迫の言葉』、ドイツ語は『犬を追い払う言葉』、フランス語は『恋を語る言葉』だが、スペイン語は『神と語る言葉』だと誇らしげに言っている。そして日本語は『謝罪の言葉』となってしまう。この事には私も何か感ずることがあります。



5010地区Gとの出会い ある朝のレストランにて

次にもう一つの大きな感激はブエノスアイレスのある朝、時間の余裕をみて街のコーヒーショップのベランダで妻と過ごしていた時に偶然出会ったロータリアン夫婦です。彼らは私たちに明るい笑顔で近付いてきて、互いの胸のネームワッペンを見

て「2760地区はどこだ」と聞きながら、「自分たちはアラスカで5010地区のガバナーで、胸の章を見てくれ」と言いました。それがロシア語で表示されていること、名刺交換をし、ロシアにもう30のクラブが出来、「来年はロシアに更に13のクラブをつくる」と胸を張っていました。私の英語力不足のため、残念ながら、来年のテキサス大会での再会を約束するにとどまりました。彼らの明るく、本当にロータリーを楽しんでいる姿、又彼の地区のクラブ訪問はすべて自家用飛行機で行っている写真をプレゼントされ、そのスケールの大きさに驚かされました。紙面の都合上、中途半端な感想記ですが、ロータリーは楽しんでするものと更に確信した次第です。

R I 国際大会参加記

誇らしげな雰囲気を満たす

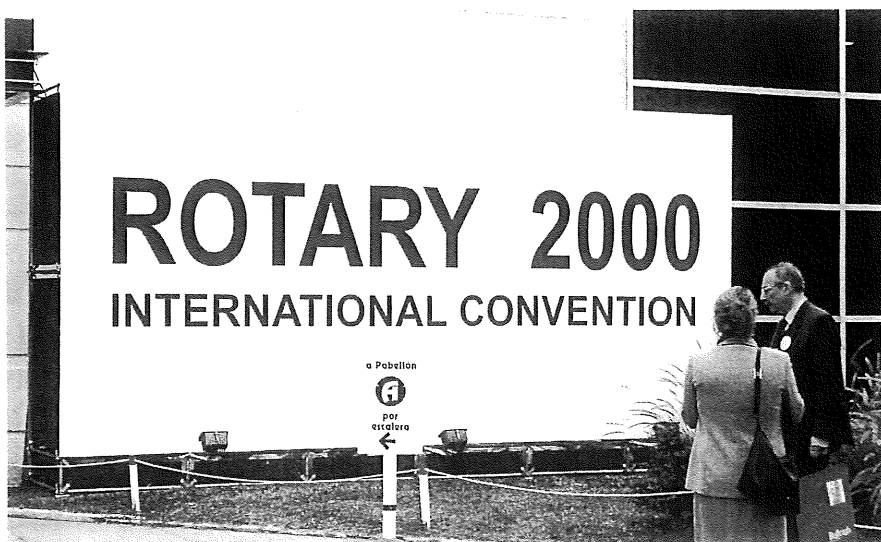
名古屋空港ロータリークラブ

会長エレクト 安藤日出男

国際奉仕委員長 金井和治

今年度当クラブは25周年を迎え、これを機にクラブでは初めて、R.I 国際大会に6月3日のアルゼンチン、ブエノスアイレスの本会議に出席する為、名古屋ー成田ーロサンジェルス経由で当地に向けて出発しました。参加者は安藤会長エレクト夫妻、高山幹事夫妻、太田バスト幹事夫妻、金井国際奉仕委員長夫妻、前田次期環境保全委員長夫妻、竹尾次期国際奉仕委員長の会員と婦人総勢11名でした。

しかし、ロスで機材故障(?)で当地一泊後、翌日(5日)シカゴ経由で約48時間掛けて現地入りしました。開会本会議には残念ながら間に合いませんでしたが、旅装を解くのもそこそこに、大会行事会場のLaruralへ急ぎました。この日は、会場周辺及び登録会場は空いていてスムーズに本会議に入ることが出来ました。



空港RC参加者一同

本会議場では、第2回本会議がちょうど散会し、舞台ではサルバドル大学の合唱団が出演していました。

各国のロータリアンが誇らしげに会場内を闊歩する中をRC 2000クラブ及び地区プロジェクト展示を見学しメキシコのロータリアン等と記念写真を撮ったりして、国際大会の雰囲気を満喫し、ロータリアンとして参加できた喜びをかみしめ、感動しながら屋外に出ました。

曇り空ながらも、晴れ晴れとした気持ちになりました。



会員増強・拡大月間によせて

会員増強委員会委員長

小川 辰 男



拡大委員会委員長

加藤 正 男



8月は、R Iの「会員増強・拡大月間」です。

新年度の職業分類を終え、未充填or新分類を充填するために会員増強活動を開始する時期であります。

ちなみに、世界のロータリアンは1998年末-99年末比で、1,188,816人から1,170,904人へ17,912人減少し、日本も1999年3月-2000年3月比で、3,157人減員しました。

ロータリー組織と活力存続のため新会員増強を！ の要請が歴代R I会長から続き、今年度フランク J. デブリン会長も「21世紀の会長特別要望事項」として、「増強プログラム推進」「全クラブ5名純増」を求めています。

そんな中、わが2760地区は1998年-99年に152名減少の6,130名で1999-2000年度入りしましたが、本原稿作成時（2000年5月集計分）で見ると、期首より164名純増の6,294名に到達する状況にあります。

これは、期首設定の増強目標に各クラブが全力で挑戦された成果といえます。また、久々にクラブ拡大が実現し豊田中と三河安城の両クラブが誕生したのが大きく寄与しており、ご同慶の至りであります。

今年度地区方針の中で、福田ガバナーは「新しい友を迎え、最もよく奉仕する者は最も多く報いられるという実践哲学を共有し、喜んでもらおう」と呼びかけました。

今年も友愛と奉仕の心を深めて退会防止に努め、会員にふさわしい資質と奉仕の心情を備えた新しい仲間を我々は不断に探し続けなければなりません。

自らのまわりに「奉仕の輪」を広げる増強活動は、ロータリアン全員の特権であり責務です。2760地区の会員純増にとりくみ力を合わせて頑張りましょう。

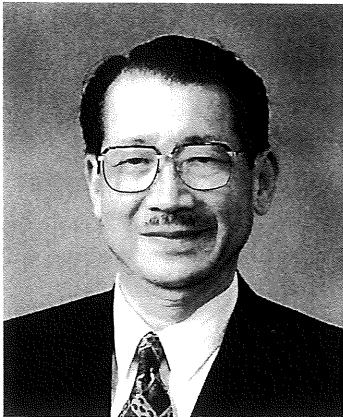
僅か4人の会員により最初のロータリークラブがアメリカ合衆国シカゴに誕生して以来95年を経て、今や文字通り世界的規模において、161カ国で活躍する110余万人の会員と共に、3万クラブが存在するまでに至っています。

「拡大」の目的は、職業を通じて奉仕の理想を推進し、地域社会をよりよくするロータリー活動の分かち合いです。この世にはロータリーに未参加の指導力・影響力・人望のある有用な職業人、特に若く有能な職業人が数多く存在します。

新しい時代の訪れと共に、職業の多様化・専門化・国際化が大変なスピードと共に展開されつつあります。これこそ「拡大」の原動力です。

昨年度久しぶりに拡大の成果が実り、安城R Cをスポンサーとする三河安城R C、豊田東をスポンサーとする豊田中R C、以上2つの新しいクラブが誕生しました。ご関係ロータリアンズの皆様に対し心からなる敬意を表すると共に、本年度におきましても是非しかるべくして新しいクラブが誕生することを、強く念願しております。ロータリーは永遠！ ポールハリス以外のロータリアンズは、すべて誰かの推薦により入会しています。若いエネルギーを尊重し、ロータリーに参加するチャンスを提供し、ロータリー活動の活性化を計ることはすべてのロータリアンズに共通する使命ではないでしょうか？

= 幼児期から“耐性”を養う = 『子どもの健全育成』



パストガバナー

松本 宏

1996～'97年度
ガバナー（半田RC）

これから高齢化社会を支える大人となる心身共に健全な子どもの育成が求められます。最近、学級崩壊、キレる子ども、いじめ、校内暴力など学校で問題が起るたびに、学校での子どもの扱い方や、家庭でのしつけなどが問題となりますが、これらの根源は、乳幼児期の子育てにあると思います。心の健全育成を配慮した子育てがあって初めて、学童の心の健全育成が達成されるのです。

育児とは何か、子育てとは何か、を原点に立ち返って考えてみる必要があります。子育てとは、子どもを保護し大きく育て、社会的自立を促すプロセスであります。

少子化・格家族化が、ごく普通の時代になると、社会生活を見捨てた家庭本位の育児が行われる傾向にあります。その結果、子どもの問題行動が多発しています。この問題については、その根底に子どもの耐性の未発達が発達心理学の立場から説明されます。耐性とは、ローゼンツウィクは「要求が阻止され、欲求不満の状態になっても、不当の行動に訴えず、それに耐えて順応していくことのできる個人の能力」と定義しています。人間は一定の社会ルールのもとで生活しています。個人がいろいろな欲求を持つことは、ごく自然なことであり、時には我慢することが必要で、その力が耐性であります。

この耐性を育てるには、家庭教育で基本的な生活習慣や道徳意識を育てる、即ち「しつけ」が大

切となります。社会的自立として、養育者が家庭においてなすべきことは、

①社会性の発達を促進すること。

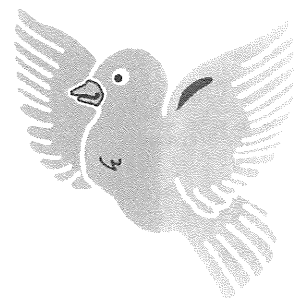
親子、兄弟、友達との十分な遊びを通じて、その基礎をつくること。

②家庭におけるしつけ。

家庭生活でのしつけ、社会性のしつけとして耐性を育てること、即ち、年齢に応じて我慢する能力をつける。自分でできることは自分でさせる。やたらに物を与えない。理屈に合わないことは断固拒否する。挨拶、返事の励行。社会生活マナーのしつけ。相手に対する思いやり。迷惑を掛けないようにする、などであります。

最近コミュニティーでの人間関係の稀薄化が進んでいます。現代若者の精神病理の代表的な兆候の1つが、「引きこもり」で、家庭の外の社会とのかかわりを失い、コンピュータを介してだけの、世の中とのかかわりで暮らす若者が増える傾向がみられます。古きよき日本の心情は危機に瀕しているといえます。この危機から脱却するには、家庭や社会で好ましい人間関係を築き、子どもたちの心と体の健全育成を目指すことであると思います。

今年度私は、Children at Risk Task Force の一員として、微力ながら奉仕いたす所存でございます。ロータリー各位のご協力をお願いいたします。



1,600人〈78クラブ〉が 新世紀に向けて研修

2000年4月15日(土) 於 ウェスティンナゴヤキャッスル
ホストクラブ 西春日井RC

地区内78クラブ1,600名余の参加のもと、2000～01年度のための国際ロータリー第2760地区地区協議会を開催。

西春日井RCのホストのもと、次第に従い午前の本会議、昼食をはさみ、午後の9分科会そして再び全員での本会議と5時間に渡り熱心に研修・討議した。

野村重彦地区ガバナーが「協議会」の重要性と「ロータリーの素晴らしさ」そして福田清成ガバナーエレクトにエールを送るとともにこの一年間の活動、協力への感謝の意を述べられた。

続いて福田ガバナーエレクトが新年度「ガバナー方針」を説明するとともに地区内クラブの次期会長・幹事をはじめ各委員会委員長らと9分科会で研修するなど、7月1日からの新年度入りへの体制づくりを進めた。

フランクJ.テブリン次期RI会長方針並びに福田清成ガバナーエレクトの「活動方新」の詳細は前号（第1号）で述べた通り。

福田ガバナーエレクトが語った「ロータリーの魅力とRI」「RIの使命声明書」について次頁の通り。

(呼称は平成12年4月15日現在)



人生哲学

それはロータリー

ロータリーの魅力とRI

ロータリーは基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕——「超我の奉仕」の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践倫理の原理に基づくものである。

奉仕の理想はこのように説明されています。自分がこの上なく可愛い、でも他人に尽くさねば、いや尽くしたい——この心の葛藤を癒してくれる素晴らしい生き方でありす。

さらに嬉しいことに、奉仕の理論が職業及び人生における成功と幸福の真の基礎であると断言しています。このことを団体で学び、団体で実践例を示し、各人が人生のあらゆる場面で実践するよう、ロータリーは綱領にうたっています。そして知り合うことと親睦がそのもとであるとしています。

現在のような厳しい経済変化の中にあっても、いつの世にあっても、このロータリーの理論がしっかり証明されることを願うものであります。そうすれば、他人にすすめても喜ばれるのではないのでしょうか。

もう一つの魅力、それは、各クラブがRI、国際ロータリーを形成していることであります。奉仕の理想を信条とするロータリアン、クラブが世界中に存在しています。お互いに親交を図り、世界を住み良いものにしようとする意識、行動は実に素晴らしいものです。

まわりの人々が幸せになることが、即ち自らの幸せであるとする日本に昔からある哲学、考え方をぴったり合うものであります。

RIの使命声明書

現在の手続要覧にある声明には、奉仕活動を強調すると同時に、人間性の向上と平和について解り易く詳しく書かれています。そして、個人・ロータリアンと云う文字が団体とかロータリークラブの前に記され重視されておりました。

昨年11月の理事会における変更では、会員の表現は残りました。しかし、人間性を謳う美しい表現は無くなり、奉



野村Gから福田Gへ

ガバナーエレクト 福田清成

仕の理念を活動として推進するとのみ記されました。そのかわりロータリーの拡大、クラブの連帯が加わりました。

ところが、本年2月の理事会で11月の決定が目まぐるしく訂正され、会員の文字が消され、さすがにロータリーの綱領の推進は残っていますが国際規模の管理体系なる言葉が盛り込まれました。

きっと理事会は現在の会員減少に非常な危機感を抱き、必死になって教育体系、管理体制を強化して、この減少を食い止めようとしているのではないのでしょうか。以前には殆どなかった地区の目標なる言葉も増えてきております。

こうした流れはロータリー精神に深く共鳴していた、少なくとも日本のロータリアンには逆効果のように思えてなりません。「職業奉仕の理想」が前面から後退すれば、それだけロータリーの魅力は薄らぐのではないのでしょうか。

職業奉仕の理想は以前、次のように説明されておりました。

「別の表現をすれば、職業奉仕は、職業の世界において、奉仕の理想を推進することを目的とするものである。

すなわち職業奉仕は

●個々のロータリアンが、その職業関係

のすべてにおいて——従業員、競争業者、顧客および仕入先との関係において高い道徳的水準を適用し、かつ、

●ロータリアン各自がこの水準を、自分と職業を同じくする他の全ての人々の間に推進することを意味するのである」

この解説こそ、職業人のリーダーとしてのロータリアンがロータリーに共感を覚え、喜んでロータリークラブに参加していた根元になっていたように思われます。

最初にお話ししました「超我の奉仕」の哲学とこの職業奉仕の理想がよく納得していただけたなら、もっと会員になって貰える人が増える筈であります。

各クラブにおいて会長を中心として、結束の強いリーダーシップチームを構成され、クラブ協議会でしっかりベクトルを合わせ活力あふれる1年にして下さるようお願い致します。

デブリン会長エレクトの云われるよう、21世紀の始まりに当り、ロータリー人生のthe most exciting Journeyと一緒に旅立ちましょう。

第1分科会

(会長・幹事)

テーマ ・ 会長、幹事の役割

・ 組織運営の基本

・ その他 (模擬入会式-瀬戸ロータリークラブ)

リーダー	ガバナー	野村重彦
アドバイザー	ガバナーエレクト	福田清成
アドバイザー	ガバナーノミニ	太田賢太郎
アシスタントリーダー	地区幹事	内藤耕造
アシスタントリーダー	次期地区会計長	沼田準二
アシスタントリーダー	次期資金委員長	片山主水
アシスタントリーダー	次期地区幹事	伊藤鶴吉
アシスタントリーダー	次期地区監事	安藤正英

野村アドバイザー：2004年には大阪にて国際大会が開催される。是非とも成功に導くように今から頭に入れておいていただきたい。ロータリーは例会がもっとも大切なものである。例会の充実が退会防止にもつながる。もう一つは会員増強であり5%増加が望ましいところであるが是非とも3%達成していただきたい。

R Iは事務費を大巾にカットをすることを考えている。そ

のためにインターネットを勧めている。インターネットの利用でロータリーは人と人との知り合う事が出来る。

内藤アシスタントリーダー：最近ではガバナー事務所が受ける仕事が大変に多くなり、できればガバナーの意見を聞いて委員を選出して欲しい。各クラブから地区に1名出して欲しい。会員増強が色々と言われている。私共の地区でも

会員が減少している。是非とも増強、退会防止に御努力を。

又地区事務所に一度は何かの機会にて使用



され、地区事務所の内容を知って欲しい。

活発なフリートークのあと野村アドバイザーより「良いプログラムを作り、良い年度になります様期待します」と締めくられました。

分科会報告

リーダー	次期地区クラブ奉仕委員長	神原義嗣
アドバイザー	パストガバナー	福田浩三
アシスタントリーダー	次期地区拡大委員長	加藤正男
アシスタントリーダー	次期地区会員増強委員長	小川辰男
アシスタントリーダー	次期地区広報委員長	種村桂介
アシスタントリーダー	次期ロータリーの友地区委員	岩井良明
アシスタントリーダー	次期東名古屋分区ガバナー補佐	星川直志
担当	次期地区副幹事	大森春彦

神原義嗣リーダー：RCのベースは各クラブにある。福田GEの言葉にもある様に一人一人の会員が満足出来るクラブにして欲しい。又ロータリーは親睦→職業奉仕→社会奉仕→国際奉仕と変遷しているが、デブリン次年度R・I会長の「意識を喚起し一進んで行動を」を実践して下さい。

福田浩三アドバイザー：クラブ奉仕はロータリーの基礎である。入会しやすく、親しみやすいクラブ、又会員の減少をくい止めるより、増強に力を入れて欲しい。

加藤正男アシスタントリーダー：本年は「三河安城」「豊田中」が誕生し、おめでとう。クラブは全会員が平等に権利を有し、各人がそれぞれの力を発揮出来る土壌がある。



第2分科会

(クラブ奉仕・会員増強・拡大・広報)

自然な形で無理のない拡大を要望します。

小川辰男アシスタントリーダー：会員動向は2月末で、純増120名である。又クラブの誕生によるが6月末での退会でこの数字は減る。最低2%の増加を望む。ロータリアンになった以上増強の為に奉仕をして下さい。7割の会員が増強0である。クラブ増強委員長は、増加の為にプロデューサーである。

種村桂介アシスタントリーダー：等身大の広報で、真意の伝わる様に工夫して下さい。各メディアの利用、インターネットの活用(HP)等。大新聞社はRCに固定観念があるやに思う。切り口を変えた広報を！

岩井良明アシスタントリーダー：「ロータリーの友」を読むことによって他地区の活動・考え方を識る事が出来る。「友を読む」「投稿しろ」「実践しろ」この三つを各クラブの活性化につなげて欲しい。

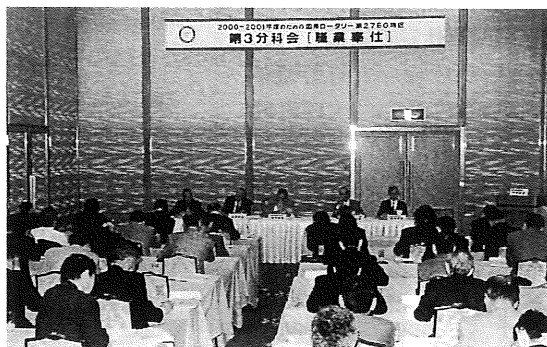
星川アシスタントリーダー：時代に相応した、若い人にも歓迎されるクラブにする事が、増強・拡大につながる。女性会員の拡大、又見せる広報をさりげなく提供する事によっても効果がある。

第3分科会 (職業奉仕)

リーダー	次期地区職業奉仕委員長	田中清隆
アドバイザー	バストガバナー	神戸政治
アシスタントリーダー	次期南尾張分区ガバナー補佐	石川治郎
アシスタントリーダー	次期地区職業奉仕委員	加藤俊夫
アシスタントリーダー	次期地区職業奉仕委員	松井章悟
担当	次期地区副幹事	大平正士

石川治郎アシスタントリーダー：職業奉仕について、①綱領、②手続要覧、③具体的な事例について考えた。具体的な例についてはバストガバナーの前原勝樹編の「ロータリー職業奉仕事例集」より引用した。職業奉仕には 職業そのものの奉仕と職業を通じた社会奉仕（広い意味での職業奉仕）があります。

加藤俊夫アシスタントリーダー：福田ガバナーエレクトの次年度の方針の第一に職業奉仕についてのテーマがある様に、今こそ全ロータリアンは、ロータリーの基本である職



業奉仕活動に力を注ぐ時である。他人に対する思いやり、そして「最も奉仕する者、最も多く報いられる」の精神は、江戸時代から続く近江商人の「三方よし」すなわち、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の実践あるのみ。松井章悟アシスタントリーダー：次年度クラブ委員長を努められる皆様に、今年度クラブ会長を努めている立場から、クラブで職業奉仕委員長とどの様にかかわり、クラブ例会を含めてどのように職業奉仕プログラムを展開したかという事例をお話することで一つでも参考にしていただけたことがあれば幸いです。(事例略)

神戸政治アシスタントリーダー：委員会の目的・構成など

不明な点は、先ず「手続要覧」を開く様にしたい。疑義の生じた場合、自分は何の様に考えるか、考え方が問題であり重要である。客に物を売り故障などトラブルが発生した場合、売手がどの様に対処するかで売手の優劣が決まる、と云われる。これと同じことではないか。

分 科 会 報 告

リーダー	次期地区社会奉仕委員長	千田 毅
アドバイザー	バストガバナー	奥谷博俊
アシスタントリーダー	次期東三河分区ガバナー補佐	林 成樹
アシスタントリーダー	次期地区環境保全委員長	國分孝雄
アシスタントリーダー	次期地区RCC委員長	前田捷彦
担当	次期地区副幹事	石原誠一郎

千田 毅リーダー：環境保全、RCCに先ず重点を置いて進めたい。クラブ活動が原点であり新しい活動に挑戦してもらいたい。

國分孝雄アシスタントリーダー：環境保全についてはRCにとっても世界にとっても大事な問題である。環境保全委員会では、1999年～2000年のテーマとして“もっと意識しよう、もっと行動しよう。”であった。社会奉仕のテーマに環境保全をとり上げる。愛知万博について2760地区として支援していくことになっている。

21世紀にふさわしいテーマ“自然の叡智”ーサブテーマ案として、(1)新しい地球創造、(2)生きる喜び、(3)母なる自然 環境保全は、地区全体で取り組んでいく必要がある。

前田捷彦アシスタントリーダー：RCCは社会奉仕活動の



第4分科会 (社会奉仕、環境保全、RCC)

“How to”である。78RC中、RCCを8クラブが提唱、6クラブで委員会設置している。1986年、RI会長は先進国へ向け提唱し1988年、国際RCで採用された。1996年、ロータリー地域共同隊となる。GSE、WCS共関係があり、RI会長テーマもRCCそのものである。

林 成樹アシスタントリーダー：ロータリアンは最初のクラブ設立以来、自己の地域社会に奉仕することに深く携わってきた。各ロータリークラブの歴史にはロータリーの綱領の次の第3項を実行に移しているプロジェクトが数多く記録されている。“ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること”奉仕するものは行動しなければならない。いかなるクラブもロータリーの綱領を無視したり、ロータリークラブ結成の本来の目的を危うくするような社会奉仕活動を行ってはならない。

奥谷アドバイザー：社会奉仕は本来クラブそのものが目ざめ意識改革し活動する。環境保全に就ては自然との共生（ここがポイント）である。RCCは、クラブの質が問われ、社会奉仕そのものである。

国際ロータリー第2760地区 地区協議会

第5分科会

(国際奉仕、青少年交換、世界社会奉仕)

アドバイザー	パストガバナー	蜂谷弘道
アシスタントリーダー	次期東尾張分区ガバナー補佐	坂田 隆
リーダー	次期地区国際奉仕委員長	中野博三
アシスタントリーダー	次期地区青少年交換委員長	大谷和雄
アシスタントリーダー	次期地区世界社会奉仕委員長	大平賢一
アシスタントリーダー	次期地区国際奉仕副委員長	守野暢洋
担 当	次期地区副幹事	大塚祥敬

中野リーダー：国際奉仕委員会とR財団とは密接な関係にあり、云い換えれば表裏一体の関係ともとれるので、R財団を大いに活用して事業を行なうことが大切である。
大谷アシスタントリーダー：青少年交換は3年にもまたがる。しかもエンドレスな事



して各クラブでの御活躍を期待し、祈念します。

分 科 会 報 告

リーダー	次期地区新世代委員長	鶴田欣也
アドバイザー	パストガバナー	松本 宏
アシスタントリーダー	次期西尾張分区ガバナー補佐	藤井 忠
アシスタントリーダー	次期地区インターアクト委員長	荻本鉄夫
アシスタントリーダー	次期地区ロータアクト委員長	青木公貞
アシスタントリーダー	次期地区ライラ委員長	加藤鈴幸
担 当	次期地区副幹事	倉知正憲

鶴田欣也リーダー：福田ガバナーの意向を最大限尊重した上で、新世代の健康・人間の価値・教育・自己啓発などの多様なニーズを認識して、彼らのよりよき未来を確実なものとするために、彼らの生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることがロータリアンとしての責務だ。

また21世紀を迎えるにあたり、新世紀を担うべき世代が直面する諸問題に、自立的に立ち向かえるよう彼らを支援



第6分科会

(新世代・インターアクト・ロータアクト・ライラ)

していきたい。

松本 宏アドバイザー：我々大人社会の病理の反映が即ち現代の子供社会の荒廃そのものであると指摘され、高齢化、国際化、情報化社会に順応できる資質と意欲をもった青少年の育成こそが今求められていると提言されました。

アシスタントリーダー：ロータリアンへの期待というテーマのもと、若者の夢の実現の手助けを目標に、積極的に若人の中に飛び込み彼らへの理解を深める努力が必要であると、ご自分の体験からお話をいただきました。

出席者も今後の委員会活動に大いに参考になった様子で、熱心に耳を傾けておられた。

国際ロータリー第2760地区 地区協議会

第7分科会

(ロータリー財団・財団奨学・財団学友会・研究グループ交換(GSE)・ポリオプラス)

リーダー	次期地区ロータリー財団委員長	石川 敬
アドバイザー	パストガバナー	加納 泉
アシスタントリーダー	次期西三河分区ガバナー	補佐 花沢 勇
アシスタントリーダー	次期地区財団奨学委員長	浅野 彰
アシスタントリーダー	次期地区財団学友会委員長	尾関和成
アシスタントリーダー	次期地区研究グループ(GSE)委員長	石田弘幸
アシスタントリーダー	次期地区ポリオプラス委員長	榊原克孝
担当	次期地区副幹事	滝 勝夫

地区ロータリー財団の関係各委員長から、資料に基づくオリエンテーションを受けた。

ロータリー財団：財団へ寄付された浄財は、国際レベルの人的・教育的・文化交流のプログラムに使用される。地区全体で年間60万ドルの寄付が目標であるが、その使途にひとりひとりが関心を持つことが財団プログラムの理解と振興のため有効である。

シェア・システム：年次寄付の60%は地区財団活動資金(DDF)40%は国際財団活動資金(WF)に配分され、3年間は年次プログラム基金として投資

される。

この3年間は、1年目が地区DDF選択審議会による使途の選択により始動し、2年目は準備手続き期間、3年目にプログラム実施となる。

RI財団管理委員会が指定した財団プログラムであれば地区の裁量で使途を選択できる。

同額補助金：援助を受ける国と提供国(提唱者)の合計寄付額と同額が財団から補助されることで、プロジェクトにかけられる費用は寄付額の2倍になる。地区財団活動資金からこれに5万ドルを充て重点プログラムとする。

国際親善奨学金・財団学友会：クラブの推薦をもとに地区財団委員会で奨学生を選考し財団本部に申請する。受付から帰国まで3～4年がかりのプロジェクトで、スポンサーとホスト両クラブのカウンセラー、財団のコーディネーターそして奨学生本人のスクラムが大切である。国際親善奨学生で構成されるのがロータリー財団学友会である。GSEチームのメンバーも財団学友会に含まれる。

研究グループ交換(GSE)：スウェーデン北部のRI23

20地区と交換事業を行う。11月開催の地区大会の時期に受け入れるためには、その準備を新年度が始まる前から進める必要がある。全分区で参加するのが基本で、ガバナー補佐と8分区各1人のGSE担当委員の共同作業で受入計画を8月に決定する。

ポリオ・プラス計画：国連WHOの一翼を担ったポリオ2005年プログラムに続くポリオ撲滅のための最終段階とも位置づけられるのが、ポリオ・プラス・パートナープログラムである。会員1人当たり300

円の拠出と同額が財団同額補助金として提供されている。

分科会報告

リーダー	次期地区米山奨学委員長	藤本博之
アドバイザー	パストガバナー	田中 徹
アシスタントリーダー	次期西三河分区ガバナー	補佐 加納 隆
アシスタントリーダー	次期地区米山学友委員長	小野文憲
アシスタントリーダー	次期地区米山奨学副委員長	高橋法昇
担当	次期地区スタッフ	真野則光

藤本リーダー：正式な名称は、財団法人ロータリー米山記念奨学会であり日本独自の奨学制度であるので手続要覧にはない。ロータリアンから寄附を頂き奨学生に渡すこと。奨学生のお世話をすること。

奨学期間終了後は学友会に入って国際親善の懸橋になっていただくこと。この三つを各クラブ委員長さんがPRして下さい。当地区の奨学生推薦は名大を初め12大学に依頼してあります。米山を支えているのがロータリアンの寄附で当地区は第3位で1億円有余。

高橋アシスタントリーダー：寄附方法については、(ワークブック99～2000)5頁から7頁をご覧ください。普通寄付金は一人当たり1,000円の定額寄附ですが1,500円にするだけで多くなります。特別寄附金は1万円以上であれば個人の場合も法人の場合も免税措置が受けられます。15万円です。



第8分科会

(米山奨学会・米山学友会)

円に達するまで引き続き寄附する意思表示された方は準米山功労者。

田中徹アドバイザー：米山記念奨学会の現状、米山の財産は現在100億です。2000年奨学生1,100名、米山奨学の特徴は、世話クラブがあるのとカウンセラー制度(加納泉理事からカウンセラーは若い人にしてほしいと要望)米山奨

学生の同窓会である16の学友会があり台湾には社団法人扶輪米山会、台北には米山奨学生が核になってできた唯一日本語の台北東海ロータリークラブがあり韓国では米山の出身者がガバナーにもなっています。

藤本博之リーダー：ロータリアンから寄附を頂き奨学金を渡すこと、カウンセラーと協力して奨学生のお世話をすること、卒業した奨学生を学友会に入会させ国際親善の懸橋になってもらうこと

加納 隆アシスタントリーダー：1998から奨学生の推せんが各クラブからではなく名大その他から50名の推せんを受け、書類選考、面接、簡単な筆記試験をしています。皆様のお力添えがなければ成り立ちませんのでどうぞよろしくお願い致します。

国際ロータリー第2760地区 地区協議会

第9分科会 (新会員・一般会員)

リーダー	次期研修リーダー (パストガバナー)	石川和昌
アドバイザー	パストガバナー	宮地信尚
アシスタントリーダー	次期西名古屋分区分ガバナー補佐	小坂忠勝
アシスタントリーダー	次期地区クラブ奉仕副委員長	早川八郎
アシスタントリーダー	次期地区社会奉仕副委員長	石黒担史
担当	次期地区副幹事	森 泰彦

石川和昌リーダー：先ず最初に、新会員向けにロータリーの歴史及び設立時の事並びにポールハリスの事等の説明と入会時のインホメイションの大切さと共に権利と義務のあり方、奉仕の理想の推進者で有り他人に迷惑を掛けない様に心掛け、来るロータリー100周年を目指し更なる努力が望まれる等の説明が有りました。

宮地信尚アドバイザー：ロータリーとは常識のお付き合いで人さまの為に成る様に努めたい、教育に対して次世代に良き時代を作る為に色々と取り組んで行きたい、親睦が一

番大切であり、機会の有る毎に飲食を共にし話し合いを行う様に心掛けたい。

小坂忠勝アシスタントリーダー：ロータリーの基本は人に優しく、理解を仕合う事が大切である。我々は最初の理念を大事にしながら友情の輪を広げると共に色々な人と交わる事を基本に、優しい心を持ち、お互いに理解しあう事が大切である。



早川八郎アシスタントリーダー：クラブ奉仕活動については、クラブ内の運営に係わる特定の委員会、例えば出席奨励委員会とか会員増強、親睦委員会等に推進して頂き、楽しい例会を企画し、親睦の

輪を広げたい。

石黒担史アシスタントリーダー：ロータリーで一番肝心な事は友情であり、各クラブの皆様方は素晴らしい先輩を見習って行くように心掛けて下さい。一番肝心な事は委員長の方針に従って協力をお願いすると同時にあまり難しく考えず進んで例会に出席し自己研鑽に心掛けて下さるようお願いいたします。

文庫通信 (153号)

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、30年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万8千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。ロータリーの研究や諸活動のために、ぜひご利用くださるようお待ちしております。

☆利用方法☆

文庫資料は自由に閲覧出来ますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介します。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービス致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。

(貸出し)

- ・一般資料(印刷物)の貸出しは出来ませんが、視聴覚資料(ビデオ・スライド・フィルム)は予約制(申込用紙有)で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

(ご寄贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary.bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

各地区関係事務所の御案内

◆ガバナー事務所

〒483-8205
江南市古知野町小金112
江南商工会館内
TEL0587(52)5200
FAX0587(52)5252

◆地区事務所

〒450-0002
名古屋市市中村区名駅3-12-5
竹生ビル別館(ちくぶビル)
TEL052(541)2760
FAX052(541)0500

◆地区大会実行委員会事務所

〒451-8551
名古屋市西区樋の口町3-19
ウェスティンナゴヤキャッスルホテル内
TEL052(523)1998
FAX052(531)0727

RI-2760地区 2000～2001年度

研究グループ交換(GSE)派遣メンバー募集 来春! 「スウェーデン北部」へ!

2760地区ガバナー 福田 清 成

GSE委員会 委員長 石田 弘 幸

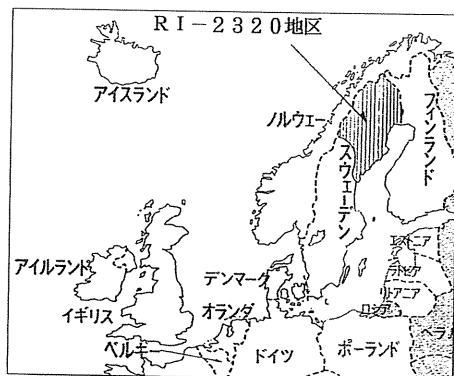
研究グループ交換 (Group Study Exchange) はロータリー財団事業の一つとして1965年に発足した非常に重要で有効な国際交流プログラムです。若い実業人及び専門的職業人に他国の職業と文化について交流と親睦の場をつくり真の国際理解を促進することを目的としています。ブラジル・アメリカと続いて今年度はスウェーデンと交流予定であり、今回派遣メンバー候補者を下記要領にて募集いたします。

各クラブの皆様にご推薦ご協力のお願いを申しあげる次第であります。

記

2000～2001年度 研究グループ交換 派遣メンバー募集要領

- 派遣先 RI-2320地区。スウェーデンの北半分の地域で主要産業は製材・製紙や鉄・銅・金の鉱業及び金属工業。ボルボやスカニアの自動車工場など。
- 派遣期間 2001年4月20日～5月20日の31日間。
- 費用 往復航空運賃はロータリー財団、滞在費はRI-2320地区が負担。
- 派遣人員 4名 (応募者中より選考委員会で決定)
- 応募資格要件
- ①ロータリアンとその直系親族を除く日本人。
 - ②愛知県内に居住又は勤務する25才から40才までの健康な方で性別は問いません。
 - ③専門職業の実務経験が少なくとも2年以上ある常勤の正社員で、帰国後もその実務に従事する見込みのある人 (公務員・教職員も含む)。
 - ④自分の選んだ職業に誇りと熱意をもち、職業技術において優秀な能力をもっていること。
 - ⑤堅実で知性豊かで偏見がなく柔軟性があり、かつ自分の意見を明確に述べる積極性があること。
 - ⑥ある程度の英語が出来る人。
- 応募方法 次の応募書類を最寄りのロータリークラブへ提出。
- ①メンバー参加申請書 (所定用紙はクラブにあります。) 1枚
 - ②写真 (カラー5cm×5cm) 1枚
 - ③作文 (参加申請書3頁に示す「チームメンバーの意図を表明するエッセイ」として400字詰原稿用紙2枚程度に応募の動機や意欲のほどを書いて下さい。)
- 募集期限 最寄りのロータリークラブへ2000年8月10日までに提出願います。



詳しいお問合せは…

国際ロータリー2760地区事務所

〒450-0002

名古屋市東区名駅3丁目12番5号

竹生(チクブ)ビル別館2F

TEL 052-541-2760

FAX 052-541-0500

(財)ロータリー米山記念奨学会 新しい表彰制度が できました！

新年度(2000年度)から米山功労者の表彰品が一部変わります。新しくデザインされ男性用はピン、女性用はブローチがつきます。第3回はサファイアの入ったネクタイピン/ブローチが贈られ、それ以降寄付金累計額に対してルビー・エメラルド・ダイヤモンドと石の色が変わっていきます。

- 例
- 第1回功労者(30万円以上)
メダル・盾・略章
 - 第2回功労者(60万円以上)
ネクタイピン/ブローチ(銀製)・感謝状
 - 第3回功労者(90万円以上)
ネクタイピン/ブローチ(銀製サファイア付)・感謝状
- *なお、ファンドフェロー・功労法人・特別功労法人・功労クラブに対しての表彰品は変更ありません。

●参考資料
「表彰制度の概要」、
「米山功労者表彰制度新旧対照表」

●当件に関する問い合わせ先
(財)ロータリー米山記念奨学会
担当 米林 Tel. 03-3434-8681

(財)ロータリー米山記念奨学会 寄付金に対する表彰制度の概要

◆特別寄付金の累計額に対しての表彰◆

2000年7月1日変更

対象	表 彰 名	累 計 額	回 数	表 彰 品
個人	(準米山功労者)	3万円以上 15万円未満	表彰はありません	
	米山ファンド・フェロー	150,000円	(1回のみ)	感謝状(ケース付き)
	米山功労者	300,000円	1	メダル・盾・略章
		600,000円	2	銀製 ネクタイピン/ブローチ(石なし) および感謝状
		900,000円	3	銀製 ネクタイピン/ブローチ(サファイア付き) および感謝状
		1,200,000円	4	銀製 ネクタイピン/ブローチ(ルビー付き) および感謝状
		1,500,000円	5	銀製 ネクタイピン/ブローチ(エメラルド付き) および感謝状
		1,800,000円	6	銀製 ネクタイピン/ブローチ(ダイヤモンド付き) および感謝状
		2,100,000円	7	18金製 ネクタイピン/ブローチ(サファイア付き) および感謝状
		2,400,000円	8	18金製 ネクタイピン/ブローチ(ルビー付き) および感謝状
		2,700,000円	9	18金製 ネクタイピン/ブローチ(エメラルド付き) および感謝状
		3,000,000円	10	18金製 ネクタイピン/ブローチ(ダイヤモンド付き) および感謝状
		3,300,000円以上 300,000円毎	11回以降 毎回	感謝状
法人	(準米山功労法人)	5万円以上 35万円未満	表彰はありません	
	米山功労法人	350,000円毎	毎回 (注)	感謝状 (注)ただし、35万円を3回で105万円に達すること に、米山特別功労法人として表彰されます。
	米山特別功労法人	1,000,000円毎	毎回	盾
クラブ	米山功労クラブ	1,000,000円毎	毎回	感謝状(初回のみケース付き)

◆普通寄付金と特別寄付金の合計累計額に対しての表彰◆

対象	表 彰 名	累 計 額	回 数	表 彰 品
クラブ	達成クラブ	10,000,000円毎	毎回	感謝状(額付き)

※詳細は、パンフレット「米山奨学金への寄付」を参照してください。

表紙に寄せて

福田ガバナーが折にふれ、読んだり、見たり、聞いたりの中で、平易な内に含蓄のある言葉を編集スタッフで選んだものです。

●書家・画家プロフィール

書：富永奇洞

富永正明・号奇洞／篆刻・書道家
奇洞会会主・東海書道芸術院副会長
江南市教育委員長／文部大臣・県教育表彰(社会教育功労)
1998～1999年度江南RC会長

画：岩田明生

岩田 明・号明生／洋画家
江南市文化協会理事
昭和54年以後白日会連続出品
白日賞／文部大臣賞／
現在白日会会員

両氏 江南ロータリークラブ会員

(財)ロータリー米山記念奨学会 米山功労者表彰制度 新旧対照表

2000年7月1日変更

功労者回数	旧 制 度	新 制 度
第1回(30万円)	メダル・盾	メダル・盾・略章
第2回(60万円)	感謝状(ケース付き)	ネクタイピン/ブローチ (銀製石なし) 感謝状
第3回(90万円)	感謝状	ネクタイピン/ブローチ (銀製サファイア付き) 感謝状
第4回(120万円)		ネクタイピン/ブローチ (銀製ルビー付き) 感謝状
第5回(150万円)		ネクタイピン/ブローチ (銀製エメラルド付き) 感謝状
第6回(180万円)		ネクタイピン/ブローチ (銀製ダイヤモンド付き) 感謝状
第7回(210万円)		ネクタイピン/ブローチ (18金製サファイア付き) 感謝状
第8回(240万円)		ネクタイピン/ブローチ (18金製ルビー付き) 感謝状
第9回(270万円)		ネクタイピン/ブローチ (18金製エメラルド付き) 感謝状
第10回(300万円)		ネクタイピン/ブローチ (18金製ダイヤモンド付き) 感謝状
第11回以降		感謝状

【ネクタイピンおよびブローチについて】

- ・女性会員にも親しんでもらえるよう、ネクタイピンだけでなくブローチも同じデザインにしました。
- ・デザインはく米>をモチーフにしたところ、左右対称、天地対象のバランスのよい八角形となりました。世界のコンパスのイメージです。これはロータリーの「国際理解と親善」を意味し、ブルーの地にく米>とくYONEYAMAは米山奨学会の「奨学生ひとり一人の個性を認め、能力を育てる」を意味しています。